

令和 7 年 8 月 13 日

那須烏山市議会議長
青木 敏久 様

(議席番号) 5 番 興 野 一 美



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 水田活用の直接支払交付金について	2022 年度~2026 年度に一度も水張りしなかった水田は直接支払交付金の対象外であった。 2021 年度に農水省がこの方針を示して以降、水張り要件は現場の不安や不満の種であり続けた。今年 1 月の国会で水田政策見直しの方向性を明らかにし、2027 年度以降の水張りは求めないと明言した。 そこで以下の点について伺う。 ①既に水張りや畑地化に取り組んだ農家の不公平感があるのではないかと考える。直接支払交付金は何年まで交付されるのか伺う。 ②直接支払交付金は 2027 年度から田畑を問わず作物ごとに支援する仕組みになるとある。支援対象が広がれば予算を増やさない限り支援金も減ってしまうことが危惧されるが、市の見解を伺う。	市 長
2. 草刈機の補助について	今年は例年になく全国的に猛暑であり、毎日のように熱中症で搬送されるニュースが流れている。農家の皆さんは、幾分涼しい早朝から、日中の暑い中草刈り作業をしている。 そこで暑い中でも、農作業の効率化を図るため畦畔等の自走草刈機に補助を出したら如何かと考えるが、市の見解を伺う。	市 長
3. 農地の畦畔除去等の支援について	以前、下川井で土地改良事業が休止となった。大規模開発では、地権者の総意を得られず、会議も難航した事によると思われる。 そこで以下の点について伺う。 ①隣接地の田と高低差があまりないのであれば、施工費も安く、現在のように大型機械を導入している農家にとって効率が良いと考える。効率化を図るためにも畦畔除去等の支援をしては如何か。市の見解を伺う。 ②2022 年度に、国庫補助を活用し、アグリ那須烏山でレーザーレベラーを導入した。この機械は、レーザーを使って土地を平らにするものであるが、冬場の農閑期のアグリ那須烏山の請負業務メニューとするよう、市から要請できないか、市の見解を伺う。	市 長
4. 防犯カメラの導入補助について	昨今では、侵入強盗など治安の悪化が進み、自分、家族の身を守るための対策がますます重要になってきている。犯罪防止、証拠撮影、安心感、抑止力にもなるため個人での防犯カメラ設置が増えている。 そこで、防犯カメラの導入費用の補助を行っては如何か。市の見解を伺う。	市 長
総計時間	60 分	発言所要時間 30 分 答弁を求める予想時間 30 分

